

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	14	学校名	仙台市立原町小学校	校長名	川合 輝文
------	----	-----	-----------	-----	-------

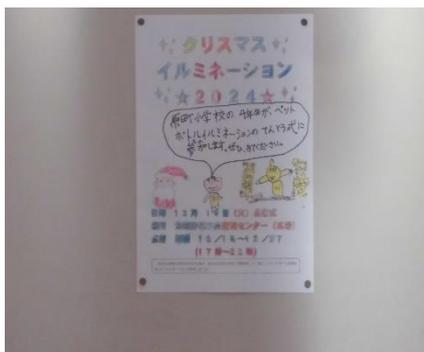


- 1 取組のタイトル, テーマ  
ペットボトルをリサイクル～廃材利用で地球にやさしく～

## 2 取組の紹介

4年生の社会科「ごみのしよりと利用」、総合「環境問題について考えよう」の学習を通して、地球温暖化や海洋汚染、ごみの問題、生き物の減少など、地球上では、多くの環境問題が起き、人間や他の生き物の生活が危険にさらされていることを学習しました。そこから、自分たちにできるごみを減らす具体的な活動として、ふだんの生活で身近なペットボトルの再利用について考えました。

今年度は4年生が、社会科と環境問題の観点から、ペットボトルイルミネーションやボトルキャップアートを制作しました。集めたペットボトルはペンで丁寧に色を塗り、市民センターの方々に教えていただきながら一緒に設置作業をしました。点灯式に向けてポスターも作りしました。完成したイルミネーションは、JR 陸前原ノ町駅の広場や学校出入り口付近の窓、校舎内の階段にも飾りました。イルミネーションは大小のツリー型やランタンをつなげた飾りなど、市民センターの方々の御協力をいただきながら多様な作品に仕上がりました。校内にはペットボトル花壇を計画して作りしました。このように多くの活動に取り組み、ペットボトルの再利用を考えることで、環境問題を自分事として考えることができました。



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

活動を通して、自分たちが出すごみの量の多さやごみにも様々な種類があり、処理の仕方にもそれぞれ違いがあるなど、ごみに関する問題について関心が高まりました。また、環境問題について考える活動を通して、ごみを減らすためには分別を意識して生活することが重要であることや、簡単にごみを出さないで生活すること、ふだんごみとして捨てている物も、工夫次第で活用できることに気付くことができました。学習後の振り返りでは、「今回、学習したことをたくさんの人に知ってもらい、みんなでごみを減らしていきたい」、「みんなの住む地球は、みんなで住みよい環境にしていきたい」など、これからの生活に向けた前向きな考えを持つことができました。